

本町通りのまちづくり

歴史を伝える本町通りのまちづくりについて

与野本町駅周辺地区におけるまちの将来像やまちづくりの方針等を示す「与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン（平成27年11月）」に基づき、本町通りではリーディングプロジェクト3「歴史を伝える本町通りのまちづくり」（以下、LP3 という）の取組みを進めています。

本町通りは、江戸時代の市場としての名残等から、本町通りの沿道には未活用の空間（前庭空間※）が存在しています。LP3 では、この空間を活用していく仕組みをつくり、歩行者や自転車の安全性を高めるとともに、街並みルールづくりを進め、歴史のまちとしての魅力を創出していくことを目指しています。



出典：与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン

LP3 の施策の方向性

- ◆本町通りの歴史や魅力の保全・形成
- ◆安心して歩ける環境の形成
- ◆地区外の人々への情報発信

本町通りの昔と今

以前の本町通り

室町時代から市（いち）が立つまちとして知られ、江戸時代に入っても市場の町として栄え、前庭は市場の「場」として活用されていました。明治から昭和の初めにかけての本町通りは桜並木が美しく、遠方からも花見の客が訪れていました。



昭和30年頃の本町通り



与野町花ノ街道



交通量の多い通り



出典：さいたま観光国際協会
与野夏祭り

本町通りの現状

2車線道路（幅員7~10m）のため歩行空間は狭く、自動車交通量が多いことが特徴です。また、近年の開発等により、昔の市場の名残である前庭空間※や街並みが徐々に失われつつあります。沿道では与野七福神パレードやばらまつり、与野夏祭り等のイベントが開催されています。

※前庭空間については裏面参照

“前庭空間”とは

古くから市の立つ町として栄えた本町通りの沿道には、市場の名残である前庭のような空間が残っています。その空間は市の開催場でもあり、商品の荷さばき場ともなっていたといわれています。



明治末期の市場風景[吉野章輔画]



前庭空間が残っている住宅

これまでの取組みについて

平成28年11月に与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会が設立され、地域が主体となってまちづくりを推進してきました。平成29年2月には「リーディングプロジェクト3 歴史を伝える本町通りのまちづくり分科会(以下、LP3分科会という)」が設立され、施策の実現に向けた活動を行ってきました。

H28年度

- ・LP3分科会設立
- ・沿道住民を対象にアンケートを実施

H29年度

- ・LP3分科会内にて本町通りで今後取り組む内容を検討する ワークショップを実施

H30年度

- ・先進事例を調査(中山道蕨宿・岩槻市宿通)

R元年度

- ・交通社会実験を実施(市主体)
- ・前庭空間活用の取り組み実施

R2年度

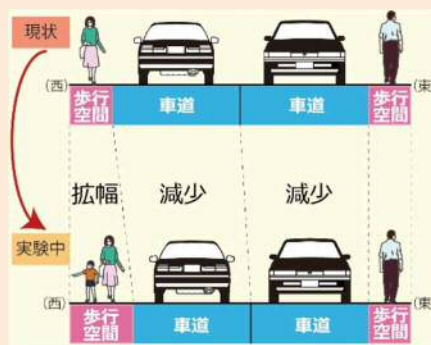
- ・まち歩きマップを作成

今後

- 新たに沿道組織を立ち上げ、地域の皆様の手で本町通りを魅力的な通りとするためのアイデアを検討する
- 市と連携してアイデアの実現に向けた検討を進める

交通社会実験(令和元年度)

安心して歩ける歩行空間の形成に向けた検証を目的として、西側歩行空間を拡幅する実験を行いました。多くの方から「歩きやすくなった」との回答を頂き、自動車走行環境に関しても大きな影響がなく、社会実験を「継続すべき」との声が多かったことから、継続的に実施しています。



まちの歴史の情報発信



前庭空間のキッチンカー出店



まち歩きマップの作成

建築物等に関するルール検討



先進事例の現地視察会



デザインワークショップ

今後、新たに「沿道組織」を立ち上げ、地域の皆様の手で本町通りを魅力的な通りとするためのアイデアを検討していきますので、ご協力いただけますと幸いです。

ここまでご覧いただきありがとうございます。是非、アンケートへのご記入もお願いします。